

エゾマツ



No. 48

1999. 3. 30

北海道ボランティア・レンジャー協議会

目 次

1. 巻頭言 身近な自然にふれよう.....会長 大友 健..... (1)
2. メダカの学校..... (2)
3. 1月以降の活動..... (3)
4. 会員の声..... (4)
5. 平成10年度 各部の反省..... (7)
6. 春の便り (各地の情報)..... (10)
7. キーワード..... (13)
8. 「ロビニア」の花が咲くころ.....川端 功治..... (14)
9. 鳥の世界の掟.....菊池 秀樹..... (17)
10. 本の紹介..... (18)
11. 観察会研修会情報..... (19)
12. 自然体験塾に学ぶ..... (21)
13. 編集後記..... (23)

身近な自然にふれよう

会長 大友 健

本年度の計画事業も最終段階にはいり、会員各位には、実施結果の反省時間を持ちながら、新年度の活動に大いなる飛躍を期して、情熱に燃えておられるのではないのでしょうか。

3月はじめ、札幌市より「環境評価制度の基本的ありかた（案）」の中間取りまとめを、環境審議会が公聴会方式で説明するので、意見があれば公述してほしい旨あった。

関係書類に目をとおし、手順そして事の流れなどに経験がよみがえり、基本的には問題を感じなかったのが、公述を辞し傍聴のため出席したのである現時点で自然環境を持続可能な社会構築に、うまく取り入れるため、法規制があったり、行政指導をどのようにすべきか、今後の課題は当然あることを、審議会委員の方々は承知で、第1回の市民に対する説明会をもったのである。

公述人と、審議会委員との質疑の主要事項は、「地域特性に応じた環境評価対象事業の決定」の項目に触れ、一定規模の開発以外でも、簡易な評価判定をして地域における利活用の実態に耳を傾け、その声を市民の声として大きく受け止め、採択の要否に透明、公平に生かしてほしいとの点であった。

その声は、身近な自然の破壊を心配する声であり、公述人の女性が実際問題をスライドを用いて、語り続けた10分、迫力があり傍聴席より拍手がわいた。それらは、都市近郊の樹林地であったり、水辺、野原、段丘などで地域住民の日常生活の地域に含まれている現実が多いのである。

对象的に、「優れた自然」と言われている野幌森林公園の森を、主にフィールドとしている我々だけに、今一度「身近な自然」を自分で見だし、その自然からメッセージを聞き出すため、視点、感性を高め自己のベースとして、我々の活動目的に結び付け、メニュー内容豊かな観察会をグループ活動として、展開しようではありませんか。「ジェネラリストの発想」を合言葉に一。

【メダカの学校】

環境庁は2月18日、絶滅の恐れがあると言われる全国の淡水魚類を選定した新しい「レッドリスト」を発表しました。その中で、北海道を除く日本全土に分布するメダカが、絶滅危ぐ類に指定されました。北海道には生息してはいませんが、小学校の理科の教材として水槽で飼育されていたりしてお馴染みの魚です。

メダカ (*Orizias latipes*) の呼び名の方言は全国で1000以上もあると言われていますが、かつては、それだけ一般的な魚だったのでしょ。う。

北海道に生息する魚類に目を向けると、日本最大の淡水魚とされているイトウが「絶滅危ぐI類」であり、エゾホトケドジョウは「絶滅危ぐ類」、ヤチウグイも「準絶滅危ぐ類」にリストアップされています。

言うまでもなく、これらの淡水魚の減少は、河川の環境悪化、河川の埋立て、釣りブーム等の原因が考えられますが、私たち一人ひとりが、どう行動を起こしていくかにかかっています。

メダカに関連した話題を一つ提起します。古くから親しまれている童謡に「メダカの学校」と「スズメの学校」があります。ご存じ、その一節は次の通りです。

《メダカの学校》

メダカの学校の メダカたち
だれが生徒か 先生か
だれが生徒か 先生か
皆で元気に 遊んでる

《スズメの学校》

チイチイパッパ チイパッパ
スズメの学校の先生は ムチをふりふり
チイパッパ 生徒のスズメも 輪になって
お口をそろえて チイパッパ ………

この歌詞から、どのような情景を連想されるでしょうか。メダカの学校は先生と生徒の一体感の和やかさがあります。スズメの学校は、先生がムチを振りながら一方的に生徒に教えこんでいるようにも感じられます。

さて、私たちが企画する観察会と重ね合わせて考えてみましょう。話し手と聞き手が常に固定され一方的に知識のみが伝達される観察会もあります。他方、両者が融合し合い、専門的な知識の伝達よりも、本当に自然を楽しむ雰囲気がかもしだされる観察会もあります。私たちはどちらを目指したらよいのでしょうか。

1 月 以 降 の 活 動

- ◎1月15日(金) ・ 広報誌「エゾマツ」47号発行
- ◎1月22日(金) ・ 役員会 於：環境サポートセンター 18:00～
(新年度の基本構想について 会則の追加)
- ◎2月20日(土) ・ 旭川地区会員懇親会
- ◎2月28日(日) ・ 「野幌の冬の森」自然観察会
開拓記念館前集合 10:00～12:00
- ◎3月20日(土) ・ 役員会 於：環境サポートセンター 13:00～
(定期総会議案書の検討 会則一部追加案について)
- ◎3月28日(日) ・ 野幌森林公園事務所主催「3月の森の観察」
野幌森林公園大沢口 9:30～14:00
- ◎3月30日(火) ・ 広報誌「エゾマツ」48号発行



冬の木々の様子や動物の足跡から森を観察する参加者

厚別区の野幌森林公園では北海道ボランティア・インシア・協議会主催の「森林公園冬の観察会」が開かれた。双眼鏡を手にした約三十人の参加者はあらかじめ野幌に用意されていた道路を約四十五分、木々や動物の足跡を観察して歩いた。雪上にボツボツとついた小さな足跡とシツボの跡を見つけた参加者は、ボランティアが「エゾアカネズミではないか」と解説。参加した厚別区の主婦柏野のくみさ(仮名)は「歩くスキーなど冬の森に入るとはありますが、木々が冬の森をこのように守っているのがわかった」と話していた。

動物の足跡など観察

野幌森林公園

3月1日 道新 札幌近郊版

会員の

声

札幌市南区 松野 誠也

自然観察会は自然の営みにふれ、対象物を通してそこで営まれている生と死、そして命ということを考えてもらう場でもあると思います。

その案内をする私達にとって、最近のベストセラー「葉っぱのフレディーいのちの旅ー」という絵本は格好のテキストです。カエデの葉っぱフレディとダニエルとの会話に託し樹の葉の一生を描きながら、そのかげには私達の人生についても教えてくれるものがあります。是非一読を。

(アメリカの哲学者 レオ・バスキア作 童話社刊)

石狩市 山田 春雄

この冬は雪が多く寒さも厳しく、一層春が待ち遠しく思います。いつも会誌エゾマツありがとうございます。

私は中学で教師をしています、子ども達が自然と触れ合う事の大切さを特に感じています。身の回りの植物に目を向けさせ、環境との関わりなど色々な発見をさせたいものだと思っています。例えば学校にある一本の樹を一年間観察させたことがあります。楽しく取り組んでくれました。心の教育が強調されていますが、植物を育てる体験も大切にしていきたいと思っています。



〔2月20日 旭川地区懇親会より〕

下川町 宮田 修

今年のニュースは、新人の室屋さんの参加でした。この会の呼び掛け人は「花のおじさん」野呂さん。できたてのフォトポストカード集「大雪山の花たち」をいただき、珍しい富良野岳のオニクという植物に注目。

一方、日本百名山を75も登頂している富良野の南部さん。登山もアマ無線局もご夫婦で楽しんでいます。「何かできそうだ」と野呂さん。山と花の案内人、そして、大雪山。あまり背伸びせず、今年は会員家族の交流をしようと思います。この行事が、次の大きな一歩に続くように。

札幌市厚別区 山上 八重子

日一日と暖かくなるこの頃。深い眠りからさめた動物のように私の心もおどりはじめます。いえ、この時を待ち望んでいたように思います。

早く森の中を歩いてみたい……空気を一杯一杯すいたいなぁ……どんな野鳥に会えるかなぁ……と、私の心はウキウキしています。

自然がだんだん崩壊されつつある昨今、私たちは自然に恵まれたこの地に住めることに感謝し、又大切に守り育てていく使命もあるのだとつくづく思う今日この頃です。

積丹町 佐藤 多美子

昨年は神威岬の観察会をしていただきありがとうございました。新たな発見もあり感激しました。会員3年目の今年は、積丹岳の草花について、新たな気持ちで調査・観察をしていきたいと思っています。まずは自分の身近かなところを詳しく知りたいと思っています。

積丹岳の山開きは、6月中旬です。皆さんもご一緒にいかがですか。シラネアオイ、紅花イチゴ、ツバメオモトなど、たくさんのお花々が迎えてくれます。残雪がある時には、ビニール袋を使って、尻すべりも楽しめます。

札幌市北区 三 鍋 良 平

私は先日、福島県の方へ行き、野外教育企画担当者セミナー（プログラムデザイン）を受講してきました。参加者は、民間半分、行政関連半分（教育委員会等）でした。

現状として、キャンプ、インタープリテーション等を主催するには、お金がかかるもので、その運営費を参加者にどの程度負担させるかが、一部問題となったり、専門用語の整理の必要性が言われていました。

〔我が愛しき者たち〕

札幌市東区 伊 東 幸 子

我が夫はただいま岩見沢に単身赴任中。私がそんな話しをすると必ず返ってくる言葉がある。「まあ！それはお淋しいでしょう」。また「お子さんは？」「いいえ居りません」。この時もまたしかり「それはお寂しいことで」。私は一瞬言葉に詰まる。寂しいとか、嬉しいとかは個々それぞれの感受かたの相違であって、夫婦の在り方も人によって違う筈だから。何時も一緒に居ながら会話も無く他人のような夫婦もあれば、離れていても夫婦としての絆でしっかり結ばれている場合もあるのである。他人の尺度で計ってほしくない。

我が家には、至極脳天気なハスキー犬と雑種の日本猫三匹が同居している。今これが私の家族なのである。だから寂しいなんて言っている暇がない。そしてこれがまた無条件に可愛いのである。

犬や猫の生き様を見ていると教えられる事が沢山ある。優しさ、懸命さ、無心さ、信頼、その他もろもろ、この者たちの生命が私の手中にあると思うと、疎かには出来ない。

私はこの愛しき者たちから生きるエネルギーを貰っているのである。それは人間との関係には存在しないもの、無垢そのものなのである。この子たちとの生活に感謝しながら今日一日が忙しく終わろうとしている。

平成10年度 各部の反省

平成10年度の自然観察会

研修部長 五十嵐 一夫

2月28日朝、一晩中吹き荒れていた風は一向に収まる気配を見せず、私は野幌の観察会をあきらめました。私は札幌の隣町、当別町に住んでいます。この日、町内を走っている国道(275、337号)はともに朝から通行止めになりました。

夕方、仲間から電話が来て「どうしたの?」の一言。観察会があったことを聞きびっくりしました。おまけに道

新の取材までであったこと。翌日の新聞には地吹雪が原因の車の玉突き事故の記事と並んで、大槻氏をはじめ顔見知りのレンジャーが写真に収まっていた。私が用意することになっていた観察会の資料はお蔵入り。

来年印刷しなおして使うことにします。

そんなこんなで私自身全部の観察会に参加していませんが、平成10年度の観察会も3月28日の「冬の森の観察会」の協力で最後です。

現在までに終了した自然観察会参加者数 (ボラレン)

4/6	4月の森の観察会	22 (11)
5/17	春の森の観察会	86 (13)
5/24	旭川自然観察会	5 (13)
6/7	野幌自然観察会	56 (16)
6/21	恵庭の自然	12 (10)
6/28	神威岬の自然	8 (8)
7/2	7月の森の観察会	11 (9)
7/12	ニセコの自然	15 (7)
8/2	真駒内の自然	14 (16)
8/6	8月の森の観察会	50 (12)
8/30	利根別の自然	30 (17)
9/13	宮城の沢の自然	30 (13)
9/27	野幌自然観察の集い	29 (16)
10/18	秋の森の観察会	雨天中止
11/15	野幌の森の自然	32 (17) HTB取材
12/3	12月の森の観察会	16 (7)
1/14	1月の森の観察会	30 (6)
2/28	野幌の冬の森	14 (11) 道新取材

10月18日の「秋の森の観察会」が雨で中止になったほかはすべて予定通りに終了しました。今年度は積丹町の神威岬と旭川市の外国樹種見本林でも観察会を開催することができました。

特筆すべきことは、神威岬の絶景と海浜植物、恵庭公園を埋め尽くしていたコケイランとトケイラン、外国樹種見本林のストロームマツの巨木。

いつでもどこでも新しい感動と発見があります。一人ひとりの名前は挙げませんがたくさんの皆様のご協力で観察会を開催してきました。ありがとうございます。

観察会に参加したことのない会員の皆さん。黙って森のなかを歩くだけでもきつといいこと有りますよ。下見でも本番でも一度いらっしゃいませんか。

広く知らせること

—平成10年度広報活動をふりかえる—

広報部 田村 允郁

「広報」という文字を国語辞典で調べてみると、「人に広く知らせること」とあります。広報部の活動は「会員に会の情報、会員相互の意見交流、自然に対する保護保全の啓発情報等を広く知らせる」ことです。

振り返って、今年の活動を反省すると、いろいろな反省点が浮かびあがってきます。全道各地の会員と、どう意志疎通を図っていくという難しい課題は、「会員の声」のコーナーをさらに充実していかなくてなりません。そのためには、依頼の際は是非御協力をお願いいたします。

毎号、表紙絵を広報部スタッフの三崎篤氏が担当しています。多忙な中、時間をかけて制作しています。お届けした「エゾマツ」各号をファイル保存していただくと、広報部一同作成の励みになります。また、会員の皆様がどんどん感想・意見をお寄せくださることが広報誌「エゾマツ」の内容がより豊かになっていくものと思うのです。

やっぱりあった2年目のジंकス

会計この1年

会計樋口達郎

どんなことがあってもこういうことだけは避けたい。と、心に抱きつつ会計という職分をなんとかやってきた2年間。しかし、とうとうやってしまった。会費の二重請求である。

小淵さんから引き継いだ1年目。郵便振替と郵便貯金のシステム自体の理解できず、緊張と勤務先を巧妙に抜け出しての郵便局通いなど、結構に多忙な日々をわがボラレンのために費やした。

これが、2年目の今年。7月までに75%もの入金かあったり（皆さんの協力により）、処理方法の要領も良くなったりで、昨年ほど重荷にはならずすんだ。

ところが「災害は忘れたころに」やってきた。

納入・未納のチェックは、パソコン上で二つのソフト間で、ダブルチェックしていた。会計は表計算ソフトの「エクセル97」で、現金出納帳の補助帳として会費管理を。他方、データベース管理ソフトの「アクセス97」では、主に会員管理を処理し、この中でも会費納入をチェック。

この二つのソフトをマッチングさせてみて、はじめて、納入・未納を判定し、未納者には再請求の手続きをとらせていただいた。

ところが、「2年目のジंकス」は、わがボラレンにも厳然として存在していた。緊張を欠き、慢心も多少あったのか、パソコンの誤作動を見逃してしまい、会費を二重に請求するというボカをやらかしてしまった。

室蘭の高木さん。申し訳ありませんした。誌上をお借りしてお詫びいたします。

◆後は、ミスをできるだけ少なく（本当は皆無に、ということなのでしょうが無理なので）するように努めるつもり。なにとぞご容赦のほどを。今後もミスなどについては、どしどし指摘のほどを。

会計のほかには会員の皆さんのデータ処理も行っているのです、住所、電話番号その他に変更が生じた時は、下記あてに一報を願いたい。

ホームページもぜひ一覧のうえご意見を頂戴したい。

004-0054 札幌市厚別区厚別中央4条4丁目6-1-404号

TEL・FAX 011-892-2096

Eメール higuti@sp.dianet.or.jp

春の便り

(各地の情報)

十勝の風

帯広市 池田 啓介

雪の少ない十勝では澄みきった青空の日が多く、地下の凍結が深くなるのでとけるのがおそい。4月の残雪のころ、南斜面の日当りのよいところから芽が出はじめる。早春のはじまりである。フキノトウが頭を出し、フクジュソウも伸び、花が咲き出す。

私が仕事をしている帯広市野草園の開園準備作業のはじまる4月中旬、キタコブシの花は白くその香りを漂わせている。野草園は自然そのままに残されたところ、園内に流れている湧水があり、エゾノリュウキンカ、ニリンソウ、オオバナノエンレイソウが咲きはじめてくる。また、カタクリは短期間で葉が出て花が咲き、実ができる。観察するのに大変よい野草である。カタクリの開花時期をみていると今年の野草は、いつもより早いか遅いかの目安にしている。

帯広市の野草園は4月29日(みどりの日)を開園としているが、この頃が十勝の春のスタートともいえる。

早春の花は、この4月5月と次々と芽や花を出しはじめる。樹木の下で常緑のフッキソウ、アズマイチゲ、水辺でミズパショウ、エンコウソウ、エゾエンゴサク、ザゼンソウ、スミレ類などが顔を出す。大体十勝一円がそうである。

帯広市は花はクロユリ、木はシラカンバ、鳥はヒバリと決めているが、ヒバリは川原や草原が改修や都市開発で団地造成が進められ、棲みつく場所も少なくなった。空高く舞い上がって独特の鳴き方をしようすを聞くこともなくなった。

帯広市は、森づくりに市民参加で植樹をしている。木の成長とともに野鳥の鳴き声や野草のいろいろな花が春の風によって十勝の春を楽しませてくれるのである。

旭川この頃

旭川市 沖 館 紀 子

すでにテレビ等を通して、春の便りが届く時期になりました。そかし、わが家の屋根やまわりなど、まだ数メートルという雪の山・山・山…です。

今年の旭川は、3月1日までの累積降雪量が、836cmと観測史上に残るものだそうです。それでも日中の日差しは、確実に春を感じさせます。それに、犬の散歩で眺める夜空は、オリオンをはじめとする冬の星々は西へ回り、おおぐま座の北斗七星が北の空高くなりはじめています。そんなところから季節の移り変わりを感じています。

でも、環境庁「環境白書」（平成8年版）の子どもたちの自然体験についての報告に寄りますと、何と「日の出、日の入りを見たことがない」子どもが、昭和59年には19.7%だったのが、平成7年では43.0%ということです！！

年の初めから、木星と金星の接近のようすを楽しんでいた「もと子ども」であるおばさんからは想像できないことです。

日高の春

—平成11年度 アポイ岳の観察会—

浦河町 浅野 正嗣

平成11年度も昨年に引き続き観察会を開催する予定です。11年度は、少し趣向を変えて、地元のアポイファンクラブとの共催、様似町教育委員会の後援で開催します。内容も地元の人が参加したくなるような工夫を盛り込もうと話しているところです。（例えば、植物を撮影するためのテクニック、アポイに登ったことのない人のために…etc…）とりあえず日程だけは決めましたので、近くなりましたら

連絡下さい。詳しい内容をお知らせいたします。

アポイ岳 観察会日程

5月23日(日) 6月13日(日) 7月11日(日) 8月1日(日)

さて、私の職場にも電子メールが入りました。只今、練習中です。時間がかかると思いますが、電子メールでも問い合わせしてください。観察会以外の行事などもお知らせします。

電子メール番号 hidaka.kankyo@pref.hokkaido.jp

今年度より、各地の季節の移り変わりや行事、また活動情報を収集して紙上に提供していきたいと考えています。情報提供の依頼をお願いすることになるかも知れません。その節はご協力ください。



平成11年度 定期総会のご案内

日時：平成11年4月10日(土) 13:00~19:30

場所：札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 710号会議室

日程：・研修会 13:40~14:40

演題 「札幌周辺の地質」自然の時間と都市の時間

講師 会員 大概日出男氏

・定期総会 15:00~17:00

・懇親会 17:30~19:30

(会場 「ユック」 北1条西5丁目 興銀ビル地下1F)

年に一度の研修・総会・懇親会です。多数の会員の出席をきたいして
います。

キーワード



融雪

3月～4月は日差しが次第に強くなり、気温の上昇も大きくなります。平均気温は5日ごとに0.7～1.0℃ずつ上がり、日中はどんどん雪がとけていきます。気温上昇により、積雪も一日に2～7cm、多い日は10cmも減ると言われています。

10cmの雪解は、30～50mmの降水量に相当します。つまり融雪期には6～35mm多い時は50mmの降水量に相当する雪解けがあります。

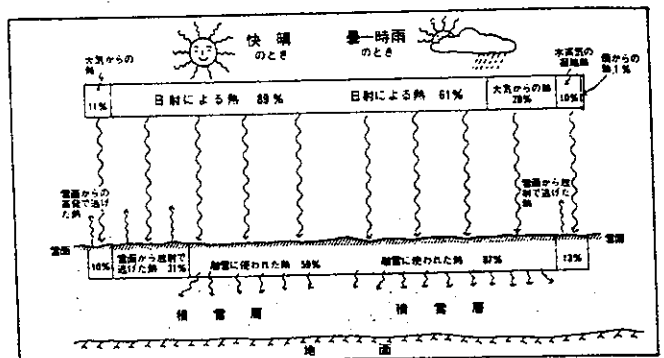
雪が解けるのは、日差しの強い晴天の日か、湿った暖かい南風の強い曇天の日ですが、雪を溶かす熱はどのようなしくみで雪面に加わるのでしょうか。その熱源として、太陽、暖かい空気や雨、また空中の水蒸気が雪面に凝結するときに出す熱（潜熱）などがあります。しかし、雪面は、それらの熱を受ける一方、同時に他方で熱を失っています。融雪期には太陽から雪面に入射する日射量の約半分は反射されてしまいます。

日差しの強い晴天の日は、雪面が吸収する日射量も多いが熱放射や蒸発で雪面が失う熱量も多い。一方暖かい曇天強風の日、日射量は少ないが放射熱量も少ないわけです。気温が高く風が強くなるにつれて、暖かい空気から雪面に伝わる熱量は多くなり、さらに凝結熱や雨の熱も加わり雪が解けていきます。

ところで、北海道の冬期間の積雪は、年間降水量の65%を占めると言われています。

参考

- ・北海道大百科事典（道新）



融雪期の晴天と曇天日に雪面がもらったり失ったりする熱の割合（一例）。この例では曇天日のほうが融雪が進んでいる（晴天日の約1.5倍）

「ロビニア」の花が咲くころ

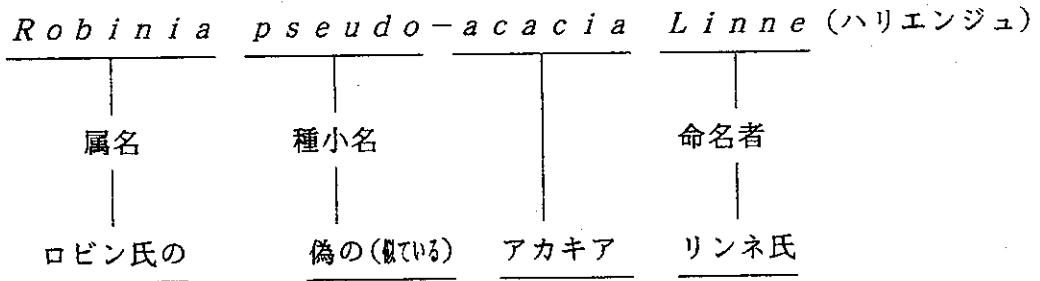
札幌市西区 川 端 功 治

一昔前になりますが、北大の構内をぶらついていると二・三人の年配の方が立ち話をしている、次のような会話を小耳に挟むことができました。

「もうそろそろロビニアが咲いてもよい頃ですね」「今年は冷害の予報が出ているから、開花も遅れているのかな」「否々この漂うてくる仄かな懐かしい良い香りは、まさしくロビニアですよ」「どこか近くに一枝でも開花しているのが在るのでは」。

年配の方ならもうお気付きの事と思いますが、このハーブの新種かとも思わせるロビニアの公式の和名は、「ハリエンジュ」、別名「ニセアカシア」通称「アカシア」。これは学者、研究者の方々は植物の和名を呼称する場合に、同定に必要な因子が多いとか、微細で念査を要するとき、何々の仲間程度で足りる場合、好んで属名を使います。

その拠り所は学名にあります。



上記の学名を分解して語源を調べてみますと次の通り。

※ *Robinia*

ロビニアは人名で、ヘンリーIV世時代のパリの園芸家 Jean Robin が 1600年にこのニセアカシアを米国から移し、息子の Vespasian Robin がヨーロッパに広めた功績を讃え、これを記念して献名され属名に採用された。

※ *Pseudo*

偽の、と言う意味であるが、植物学では近縁の種小名に似ている意味にも使う。

※ *Acacia*

正式には、ラテン語読みでアカキアと発音しなければならないが、会話等略式の場合、英語的な読み方でアカシアと発音して良いことになっている。

※ *Linne*

この種の命名者名。植物分類学の基礎をきづきあげた世界的なスウェーデンの学者。夕張岳の登山道縁に、可憐な花を二つつけて人気のあるリンネソウは、同氏の名前を献じたもの。

最近住宅地の庭に薄紅色のアカシアの庭木を見かけるようになったが、これは園芸種でウスベニニセアカシアと言われ、艶やかで大変美しい。屯田通りの公園にパラソルを立てたような園樹が数本あって、珍しがられているが、接木の技術で作られたもの。あまり普及しないようでイギリスゲナシニセアカシア（パラソルアカシア）と言われる。このほか黄色の品種が緑のセンターで見かけたが、オオゴンニセアカシアの名札がついていたが、現存するかどうかは不明。

とにかく成長が早く、ややもてあまされ気味で、街路樹としては花形であるが、伸び過ぎるので、丸坊主に刈り込まれる。瘤こぶだらけの黒入道姿は景観を損ねるとか、あまりにも刈り込み過ぎて哀れで可哀相だとか、しばし物議をかもします。

「ハリ」は針状の棘を意味し、苗木を扱う作業員から嫌われたが、動物避けの生垣に役立った。それよりも、海岸の砂防林や土木工事の法面保全のパイオニアとして重要や役目を果たした功績は大きい。マメ科であるから痩せ地の肥料木として重要であり、萌芽性が強く各地で野生化している。

蜜源植物として、良質な蜂蜜が採れるので、本州のレンゲ蜜を終えた養蜂業者がトラックに蜂箱を沢山積んで本道に渡ってくる風景は、初夏を告げる風物詩ともなった。

それにしても、ニセ（偽）アカシアではロマンが無い。詩にも歌にもならない。

*Pseudo*は折角「似ている」と解釈しても宜しい（上記）と言うお墨付きがあるのに、なんとまあ無粋なことをしたものである。

《この道》

詩 北原 白秋
この道は いつか来た道
ああ、そうだよ
アカシアの花が
咲いている

《アカシアの雨がやむとき》

詩 水木かおる 唄 西田さち子
アカシアの雨がやむとき
青空さして鳩がとぶ
紫の羽の色 それはベンチの片隅で
冷たくなったわたしのぬけがら
あの人をさがして 遙かに飛び立つ影よ

これをニセアカシアとか、ハリエンジュに置き換えてはサマにならない。それで、冒頭のロビニアと呼ぶ人も居たが、これは一部の学者のささやかな抵抗運動に過ぎないと言う陰口もあって、いつの間にかストレートに「アカシア」が独り歩きをしているのが現状である。原産地の外人さんが、訪日すればビックリすることであろうが、私たちの観察会等でこれらの経緯を語り合うのも楽しいことである。

参考

植物学ラテン語辞典 豊国 秀夫 至文堂
牧野植物図鑑 北隆館
北方植物園 朝日新聞社
面白い木の話 北海道林業改良普及協会



Robinia pseudoacacia Linn.

鳥の世界の掟

札幌市東区 菊池 秀樹

鷲などの観察に足を運んでいた2月下旬のある日、すばらしい光景に出会い感激いたしました。石狩川の堤防のとある場所でした。

一羽のカモメが川岸で一匹のヤツメウナギを摘みだしたのです。ところが獲物が大きすぎたのでしょう。扱いきれずにヤツメを放棄してしまいました。その直後、数羽のアイサが手（口？）を出したのですが、やはり大きすぎたようで、もてあましておりました。

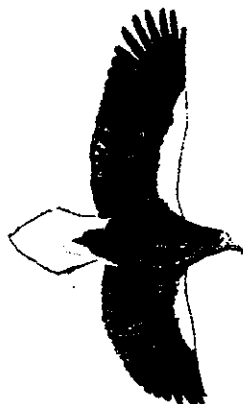
すると、突然上空より二羽の鷲が舞い降りて来て、地上すれすれの空中戦を展開したのです。よく見ると、その二羽はオオワシとオジロワシでした。数度の戦いの後、何と、凱歌は少々体型の劣るオジロワシに上がったのです。

更に感動したことは、勝敗が一度ついた後、勝を譲ったオオワシはその後決してオジロのつかんだ獲物を横取りしようとはしなかったことです。厳しい環境に生きながらも、そこには彼ら動物世界の「掟」と言いましょうか「相手を認める根性」とでも言いましょうか、我々人間が見失ってしまった何かを教えてくれたような来がいたしました。

二羽の鳥に感謝をしたい気持ちで小雪降る中を帰ってまいりました。



オジロワシ *Haliaeetus albicilla*



オオワシ *Haliaeetus pelagicus*



小野 有五 著

北海道森と川からの伝言

北海道新聞社 1997.7.11 発行

定 価 1 6 0 0 円 + 税

「ふるさとの山に向かいて言うことなし。ふるさとの山はありがたきかな」

石川啄木はふるさとの山を愛しむ心をこのように表しました。ふるさとの山、それは名の知れた山もあれば、無名の山もあります。有名な山であろうと、ありふれた山であろうと、山のたたずまいは人々に安心感を与えます。

山には樹が生え、そこにはさまざまな動物が生活を営んでいます。また、沢には魚が棲んでいます。そのような自然のたたずまいは人々に安らぎを与えます。山でなくとも、おだやかな起伏のある森に入ると、人々は心を癒し豊かな気持ちにもなれます。森は人間にとってかけがえのない場所です。

著者 小野有五氏は、あとがきの中で次のように述べています。「……疲れたときいやなことがあったときは森へ行く。森がなければ一本の木を見つめる。森や木の『気』を受け取ると、自分の気持ちが変わるからである。三十八億年の命のつながりの中で、今こうして生きていることがそれだけで奇跡のように思えたらすてきだ。」

本書は、道新土曜夕刊（1996.5.11～1997.4.26）の連載コラム「自然からの伝言」から収録整理されたエッセイ集です。

本文の中に「ネイチャー・ゲーム」という題の一文があります。その冒頭に「森にいったら、忍者になろう……」と述べています。その真意は、自分の五感を全部使うということであり、特に目、耳、鼻の三つの器官の能力を全開しようという主張です。また「……森の中でなにが見え、なにがきこえるのか。そのことを初めての人に教えるのが自然観察会や探鳥会である。けれどもただ指導者のあとをゾロゾロついていって説明を聞く、というスタイルは限界がある……」とのくぐり、観察会を企画する立場に立ったとき、耳の痛い指摘であると同時に、自然と向き合う姿勢を改めて考えさせられます。

観察会研修会 情報

今年度の観察会・研修会の計画は、4月10日（土）の総会で提案されますが、総会議案書については、当日会場にてお渡しします。また、会報誌「エゾマツ」49号（6月中旬発行）にも掲載することになってはいますが、都合で総会に出席できない会員も多くいらっしゃいます。そこで、観察会・研修会の情報を本号では予定案としてお知らせします。

◆平成11年度 観察会・研修会開催についての基本事項

- (1) 平成11年度の観察会は、主催・共催を含め18回実施いたします。共催については、野幌森林公園事務所との連携を密にして協力していきます。
- (2) 観察会のメインフィールドは、野幌森林公園としますが、各地での観察会も（旭川、恵庭、ニセコ、岩見沢等）実施します。
- (3) 今、さまざまな所でゴミの問題が指摘されています。私たちも観察会活動の実践を通して考えていきます。具体的には、ゴミ拾いを兼ねた観察会を春秋2回計画します。
- (4) 個々の会員が自主的に計画している観察会・研修会の交流の輪を広げていきましょう。そのことが、会員相互の協力関係を育んでいきます。
- (5) 研修会については、例年総会に先だって行われていますが、今年度も会員の大槻日出男氏を講師として行います。
- (6) 観察会には必ず下見を行います。この下見は、会員研修の大切な場としてとらえていますので、参加に心掛け、会員としての力量アップに努めていきましょう。

（観察会・研修会についての問い合わせ先）

研修部長 五十嵐一夫 当別町西町28-12 TEL01332-3-0604

事務局長 佐藤健一 札幌市南区藤野4条7丁目277-74 TEL011-592-4222

平成11年度に主催・共催する自然観察会(ボラレン用)

北海道ボランティア・レンジャー協議会

観察会名称	日時	下見	集合場所	備考
4月の森の観察会	4月15日(木) 10:00~12:00	4月8日(木)	北海道開拓記念館前	
野幌森林公園おかげとう (ゴミ拾い)観察会	5月9日(日) 10:00~15:00	5月8日(土)	野幌森林公園大沢口	昼食用意、下見前日 軍手、ゴミ袋用意
旭川自然観察会	5月23日(日) 10:00~12:00	5月22日(土)	旭川市外国樹種見本林 駐 車 場	下見前日
野幌自然観察会	6月6日(日) 10:00~12:00	5月30日(日)	野幌森林公園 森の自然教室前	
恵庭自然観察会	6月20日(日) 10:00~12:00	6月13日(日)	恵庭市恵庭公園駐車場	
7月の森の観察会	7月1日(木) 10:00~12:00	6月24日(木)	北海道開拓記念館前	
ニセコ自然観察会	7月11日(日) 11:00~14:00	7月10日(土)	共和町神仙沼休憩所 駐 車 場	昼食用意 下見前日
真駒内自然観察会	7月25日(日) 10:00~12:00	7月18日(日)	地下鉄真駒内駅前	
8月の森の観察会	8月5日(木) 10:00~12:00	7月29日(木)	北海道開拓記念館前	
利根別自然観察会	8月29日(日) 10:00~12:00	8月22日(日)	岩見沢市利根別自然休養林 駐 車 場	
宮城の沢自然観察会	9月12日(日) 10:00~12:00	9月5日(日)	市バス平和の滝バス停 平和公園最奥駐車場	
野幌自然観察の集い	9月26日(日) 10:00~12:00	9月19日(日)	野幌森林公園 森の自然教室前	
秋の森の観察会	10月17日(日) 9:30~14:00	10月11日(日)	野幌森林公園大沢口	昼食用意 下見日注意
野幌森林公園おかげとう (ゴミ拾い)観察会	11月14日(日) 10:00~15:00	11月7日(日)	野幌森林公園大沢口	昼食用意 軍手、ゴミ袋用意
12月の森の観察会	12月2日(木) 10:00~12:00	11月25日(木)	北海道開拓記念館前	
1月の森の観察会	1月13日(木) 10:00~12:00	1月6日(木)	北海道開拓記念館前	
野幌の冬の森	2月27日(日) 10:00~12:00	2月20日(日)	北海道開拓記念館前	
冬の森の観察会	3月26日(日) 9:30~14:00	3月25日(土)	野幌森林公園大沢口	昼食用意 下見前日



自然体験塾に学ぶ

— 会員 猪師 勉氏の実践 —

会員の猪師 勉氏（本会 監査）は、自らの自然観察活動を「自然体験塾」として実践されています。この活動は、私達会員が自主的に取り組む活動のモデルケースとしてとらえてみてはどうでしょうか。

猪師氏より、次の情報を受けたので紹介します。

◆自然体験塾の目的

- (1) 自然体験塾では「自然のすばらしさを一人でも多くの方々に知ってもらうために体験を主に楽しい観察会を実施する」を基本として居りますが、その前に目的を遂行するには、なんと言っても人です。「人を大切に」を常に心掛けて塾の活動を進めて居ります。
- (2) 現在の小学生・中学生達は自然で遊ぶ事を大変嫌う人達が多い昨今です。そうした子供達に何とか自然の楽しさを感じてもらえる様に努力しています。
- (3) お年よりで一人暮らしの方で家にこもりがちな人を出来るだけ自然の中に足をはこんでもらう様に努力しております。
- (4) 北海道の素晴らしい自然を次の世代に、そっくり残してあげるように、自然大好き人間がもっと増えてくれる事を望んでいます。やがては、地球環境に関心の持てる人を増やしていきたいと考えています。

札幌市手稲区前田6条9丁目11番8号

自然体験塾代表 猪 師 勉

TEL・FAX 011-682-0874

猪師氏は、自然体験塾の活動を通して、小中学生の不登校の相談にも取り組んでいます。また、一人暮らしの老人家庭を訪問して心のケアにも取り組む多忙を極めていきます。ボラレン会員の自然体験塾への応援を心待ちにしているとのことです。



自然体験塾 平成11年度 自然観察会実施予定表

札幌市手稲区前田6条9丁目11-8

TEL (FAX) 011-682-0874 猪師 勉

月日	観察会の種類	観察会の場所	集合場所	持ち物	備考	
2/7	冬山登山と 樹木観察	藻岩山	午前10:00 慈啓会病院前	昼食	防寒用服装*	
4/29	植物観察	北大植物園内	午前9:00 北大植物園前	メモ用紙	マンサクの花が みられる	
5/2	カタクリの大群落 観察	花魁淵周辺	午前9:00 真駒内駅待合室	双眼鏡・図鑑 昼食	根を観察します	
5/5	神宮の樹々 ウォッチング	北海道神宮境内	午前9:00 円山公園管理事務所前	双眼鏡 メモ用紙・昼食	日本以外の木も多 い	
5/16	夏鳥のさえずり ウォッチング	円山公園周辺	午前9:00 円山公園管理事務所前	双眼鏡・図鑑 昼食	キビタキ・オオル リ	
5/30	山菜の見分け方	手稲山ロープ ウェイ周辺	午前10:00 手稲山ロープウェイ前	ナフ・ビニール袋・敷 物・お椀・小皿・ 昼食	山菜料理実演	
6/6	苔の洞門と 円山遠見	支笏湖	午前8:00 西岡ダイエー前	昼食	申込必要☆	
6/13	樽前ガロー	錦沼周辺	午前8:00 西岡ダイエー前	昼食	申込必要☆	
6/27	夏山登山	裏手稲山	午前9:00 平和の滝広場	昼食	所要時間7時間程 度	
7/4	海辺の植物	石狩浜海岸	午前9:00 ビクターセンター	双眼鏡・図鑑 敷物・昼食		
7/ 10-11	特別企画 (1泊2日)					申込必要☆
7/25	ホテル観察	西岡水源池	午後6:30 管理事務所前		小学校低学年の方 は保護者同伴	
7/31 8/1	キャンプ体験 (1泊2日)					申込必要☆ 小中学生対象
8/22	薬用植物観察	ユースの森 荒井山周辺	午前9:00 円山公園管理事務所前	ジャフ・小皿・敷 物・メモ用紙・昼食	薬用植物談話	
9/12	秋の七草 ウォッチング	厚真町	午前8:00 西岡ダイエー前	ナイフ・昼食 ビニール袋	申込必要☆	
9/26	きのこ狩り	手稲山周辺	午前10:00 手稲山ロープウェイ前	ナフ・ビニール袋・敷 物・お椀・小皿・ 昼食	きのこ汁実演	
10/17	紅葉ウォッチング	恵庭湖周辺	午前8:00 西岡ダイエー前	双眼鏡・昼食	申込必要☆	
10/31	天然ドライフラワ ーウォッチング	西岡水源池	午前9:00 管理事務所前	昼食	サビタ・ツルアジ サイ・イワガラミ	
11/7	つるで花籠作り	未定	未定	花きりばさみ・ 藁手・ビニール袋・ 昼食	申込必要☆ 参加費1000円	
12年 1/10	自然体験塾新年会					申込必要☆
12年 1/26	冬芽の樹と つる性の木観察	西岡水源池	午前9:00 管理事務所前	昼食	防寒用服装	

☆印は交通費等の費用を負担していただきます

☆印以外は参加無料とします

すべて雨天決行

編集後記

◆冬的生活から解き放たれ、自然界の息づかいが聞こえてくる4月（卯月、April）です。「卯月」とは卯の花の盛りの月との意味がありますが、北海道ではもう少し後のことです。Aprilはラテン語のAprilisに由来し、地が開くとの意であると言います。4月の二十四節気には、清明、穀雨の節気がありますが、この文字を見るだけでも心が浮き立ちます。4月の自然をおもいきり楽しみましょう。

◆平成10年度最終の広報誌「エゾマツ」48号をお届けすることができました。これも会員の皆様の原稿依頼に対するご協力があったからだと思えます。平成11年度へ向けとも一層のご協力をお願い致します。

◆組織というものは、組織を構成する個々人の活動と、会員の分担協力で行う組織活動の二面があると思えます。会員一人一人の自主的活動、そしてボラレン組織の活動への参加、この二面がうまく機能する11年度の活動にしていきたいものです。

北海道ボランティア・レンジャー協議会

会報誌「エゾマツ」48号 1999.3.30 発行

発行責任者 大友 健

（表紙絵 三崎 篤）



エゾエンゴサク